

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 木下 和樹

編集人 高山 浩

2019年
4月15日
号外



JR東海労

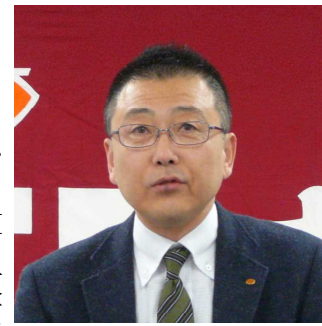
http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

水野さん、寄本さんと共に歩もう！

歓迎大集会を盛大に開催！



J R 東 海 労 は 4 月 11 日、東京・中小企業センターで「水野良則さん、寄本智さん加入歓迎大集会」を開催しました。集会には、組合員・OBなど100名を超える参加者で両名の加入を歓迎していました。



3月1日、SMT東京トラベルサポート事業所
出向中の水野良則さん、

木下委員長歓迎の挨拶

水野さんと寄本さんの力強い決意表明を受け、全体で共に闘うことを確認しました。

大懇親会では、JR総連各単組から激励で頂いたお酒が振る舞われ、美酒を堪能しました。

「JR東海労で奮闘する」力強い決意表明

さらに3月25日、大阪第一運輸所分会・寄本智さんがJR東海労に加入しました。心から歓迎すると共に、組織拡大を勝ち取ったことについて、全

組合員OBで喜び合いたいと思います。JR東海労結成当時から、闘いを通じて組織を拡大していこう、そして闘いも強く大きくしていこう、という闘いの連続で今日を迎えられました。いま、年休裁判の闘い、一方的休日出勤反対の闘いの最中、私たちの闘いに賛同して水野さん、寄本さんが加入したことは、多くのJR東海ユニオン組合員の、会社

と養殖組合によるマインドコントロールを解くことに繋がると思っています。ペイしないリニア中央新幹線建設のために、社員からさらに搾り取るという目論む会社を許さないと目論む平和・人権・民主主義を守る、この闘いを当たり前の労働運動として、職場から地域から展開し、さらなる組織拡大を勝ち取る。

水野良則さん

私は、会社と闘っています。JR東海労の存在が無かったら、会社を辞めていたと思います。当初、「JR東海労は恐いから近づくな」と言われていました。しかし、何が正しいのか結論が出ました。闘っている労働組合が真つ当なこと、会社

がおかしいということですから。裁判の担当弁護士から「労働者は弱者ではない」と言われました。私もそう思います。この会社に、JR東海労があつて良かったと思います。労働運動のことは分かりませんが、これから勉強して、言うべきことは言っていきます。

寄本 智さん

この間、JR東海ユニオンに不満を持っていました。職場集会での発言が会社に筒抜けでした。職場では、年休を流す社員が多くいます。何とか、改善に繋がっていきたく思います。退職までの5年間は、仲間を増やすために奮闘していきます。



水野良則さん



寄本 智さん

J R 総連榎本委員長喜びと連帯の挨拶



水野さんと寄本さんの加入を心から歓迎します。

いま、国会で付度発言が問題となっていて、労組幹部にも当てはまります。JR連合は、組合員に圧力・会社には

活力といえます。JR西日本の自殺者は2005年までで23名です。労働組合は仲間・組合員を守るためのものです。

ペイしないリニアへの財政投融资は3兆円で、2.1兆円の東海会社の総資産をはるかに上回り、しかも無担保、30年据置、超低金利です。国土交通省幹部も「リニアはずっと赤字」と言っています。年間4,300

億円の維持管理費に対し、収入増は2,700億円です。森友・加計問題の比にならないレベルの問題です。トンネル残土の処分も大部分は未定、動かすための電力は原発2基分です。JR連合は、方針書には平和も脱原発もありません。容認です。これは労働組合ではありません。

JR総連に力を結集して、共に闘いましょう。

全組合員が喜びと祝福！ この上ない美酒を堪能！



初代佐藤委員長(中央)以下、歴代委員長



JR貨物労組佐久間青年部長(左)と妹尾副青年部長



JR総連福田青年協議長



寄本さんに組合員バッジ進呈

集会アピール

春の闘いの最中、新幹線メンテナンス東海・東京トラベルサポート事業所へ出向中の水野良則さん(40歳)が3月1日、大阪第一運輸所の寄本智さん(60歳)が3月25日、JR東海ユニオンと決別してJR東海労に加入した。両名の勇気ある決断に敬意を表し、組合員一同そして、JR総連全組合員が加入を心から歓迎する。

両名の加入の契機は、会社からの理不尽な嫌がらせ、パワーハラスメント、差別扱いなどに対し、本人と共に会社に向かうべき立場のJR東海ユニオン指導部が、こともあろうか会社の立場に立って本人への追及や無対応を決めこみ、本人を追い込んだことである。また、職場集会で発言したことが会社に筒抜けになるなど、JR東海ユニオン指導部と会社との癒着を許せなかったことである。御用組合の領域をはるかに超え、養殖組合の名に相応しい対応ぶりである。両名は、真に労働者の立場に立って共に闘っている労働組合を選んだのである。

水野さんは、会社を相手取って裁判で闘っている。JR東海ユニオン指導部が水野さんを一度たりとも応援したことがあったのであろうか。答えは、当然NOである。JR東海労は、水野さんの裁判闘争を共に闘っていく。

寄本さんは、専任社員になっての決断である。「JR東海ユニオンではダメだった」というのが長い鉄道人生で得た結論なのである。

JR東海労は、本人の同意なき一方的な休日出勤指定に反対する闘い、年休裁判、診断書強要都労委、一部の社員だけが優遇される人事・賃金制度の改善など、様々な闘いを展開している。これらに共通することは、会社の理不尽に立ち向かうということである。水野さん、寄本さんも同様、会社の理不尽と闘ってきた。JR東海ユニオンには、若手を中心に、会社の理不尽さやJR東海ユニオン指導部の非労働者性に辟易している組合員が数多く存在する。私たちはそのような労働者をJR東海労の戦列に迎え入れるために全力で闘う。

JR東海労全組合員は、水野さん、寄本さんの勇気に学び、加入を喜び合うと共に、職場の安全・健康・ゆとりの確保に向けて共に闘うことを、高らかに宣言する。

2019年4月11日

JR東海労働組合

水野良則さん、寄本智さん加入歓迎大集会



東京地区佐藤分会長と部
大1運分会寄本さん

大1運西分会長と
東京地区分会水野さん

集会にご出席して頂いたご来賓の皆さま

JR総連榎本一夫委員長、同淵上利和法対・調査部長、福田潤一JR総連青年協議長・JR東労組青年部長、JR貨物労組佐久間晃史青年部長、同妹尾光副青年部長

集会に寄せられたご祝儀、激励品(祝い酒)など

JR総連、JR東労組中央本部、同横浜地本、同大宮地本、同千葉地本、JR北海道労組中央本部、丸山真一氏(新幹線地本OB)

その他、各単組などから多くの激励品・メッセージが寄せられました。



大変ありがとうございました